

# 我が社の地球温暖化防止実行計画（第3版）

事業所名：株式会社 熊谷組 北陸支店

策定年月日：2010年07月06日

## 1. 計画の目的、期間等の基本事項

### (1) 事業内容

当社は総合建設業であり、建設工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導その他総合的エンジニアリング、マネジメントおよびコンサルティングならびに請負が、主要な事業内容となります。

### (2) 計画の目的

当社は、事業活動の基本としてCSRを「当社に期待されている社会的責任を果たすことにより、当社に対する評価の向上、さらには当社の存在価値の向上につながる重要な取り組み」と捉え、後世にも評価をいただける「堂々とした誠実なものづくり」を目指して事業活動を展開しております。

その一翼を担うのが、当社の地球環境保全活動であります。当社の事業活動のコア部分である土木・建築の建設工事を通して、当社の持てる建設技術を最大限に発揮することにより、環境負荷を低減し、豊かで美しい地球を子孫に継承することこそ、企業市民としての役割であり義務であると認識しています。

熊谷組グループの「Eアクションプラン」(中長期計画)に基づき、年度毎の環境目的・目標を設定し、達成する為の行動計画を策定・実践し、PDCAを回すことにより、当社の環境方針を達成するが究極の目的となります。

### (3) 計画の期間

熊谷組グループの「Eアクションプラン」(2020年までの計画)に基づき、3年毎の環境目的・目標の設定、年度毎の達成状況の監視・見直しを実施しています。

### (4) 計画の範囲

当社北陸支店の施工部門(土木・建築部門)とオフィス部門(内部管理部門)の内、石川県内のデータに限定します。

### (5) 基準年度

2009年度までの3年間の工事实績を使用(「基準年度：2009年度」と表記)します。

## 2. 温室効果ガスの種類と排出量その他の現況把握

### (1) 燃料等の使用量実績調査に基づき温室効果ガスの排出量の算定

対象項目	2007～2009年度		基準年度：2009年度		出来高当たり
CO2排出量	2,236.1	t-CO2	745.4	t-CO2	11.8 t-CO2/億円 (土木・建築工事)
電気	1,353,778	kwh	451,259	kwh	排出係数0.384
ガソリン	176,793	L	58,931	L	排出係数 $2.560 \times 10^{-5}$
軽油	481,987	L	160,662	L	排出係数2.6444
灯油	9,760	L	3,253	L	排出係数2.5284

対象項目	2007～2009年度		基準年度：2009年度		出来高当たり
紙屑	29.4	t	9.8	t	0.155 t/億円
産業廃棄物総計	17,122	t	5,707	t	90.4 t/億円
建設混合廃棄物	994	t	331	t	5.3 t/億円
建設汚泥	4,127	t	1,376	t	21.8 t/億円

対象項目	2007～2009年度		基準年度：2009年度		備考	
水使用量	1,156.0	m3	385.3	m3	6.1	m3/億円

### 3. 温室効果ガス等の3年間の削減目標の設定

削減目標	2010年度		2011年度		2012年度	
CO2排出量	基準年度の4%低減		基準年度の6%低減		基準年度の8%低減	
	715.6	t-CO2	700.7	t-CO2	685.8	t-CO2
	11.3	t-CO2/億円	11.1	t-CO2/億円	10.9	t-CO2/億円
紙屑	基準年度の4%低減		基準年度の6%低減		基準年度の8%低減	
	9.4	t	9.2	t	9.0	t
	0.149	t/億円	0.146	t/億円	0.143	t/億円
産業廃棄物総計	基準年度の4%低減		基準年度の6%低減		基準年度の8%低減	
	5,478.9	t	5,364.8	t	5,250.6	t
	86.8	t/億円	85.0	t/億円	83.2	t/億円
建設混合廃棄物	基準年度の4%低減		基準年度の6%低減		基準年度の8%低減	
	318.1	t	311.5	t	304.9	t
	5.1	t/億円	5.0	t/億円	4.9	t/億円
水使用量(支店のみ)	基準年度の4%低減		基準年度の6%低減		基準年度の8%低減	
	369.9	m3	362.2	m3	354.5	m3
	5.9	m3/億円	5.7	m3/億円	5.6	m3/億円

### 4. 温室効果ガス等削減のための取り組み

#### (1) 具体的な取り組み事項

現在、全社的に実施している具体的な取り組み事項を列記すると以下のようになります。

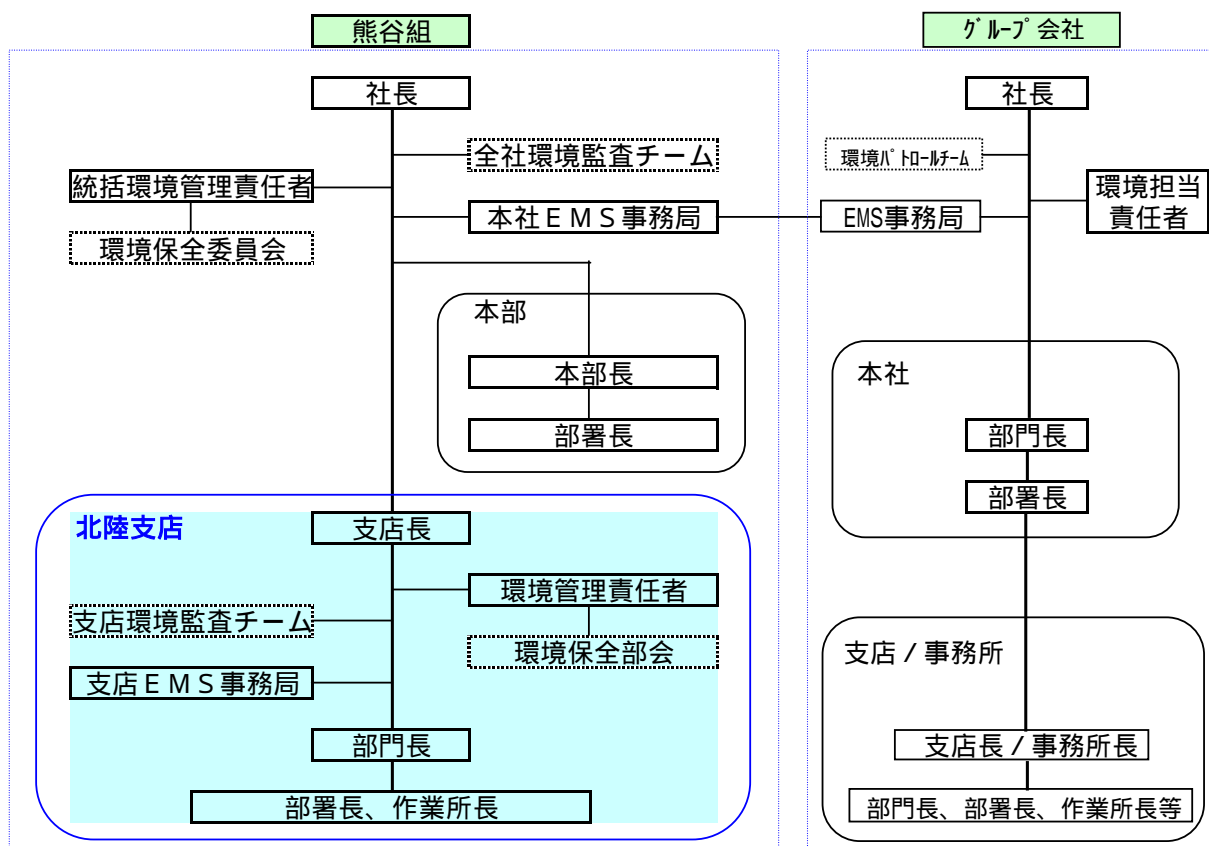
省燃費運転・アイドリングストップ運動の推進(ポスター、教育、活動手順の作成)  
 建設発生土の削減・リサイクルの推進(施工計画時の検討、運搬距離の短縮)  
 重機車輛の適正整備の実施(定期検査証の確認、協力業者への指導、オペへの教育指示)  
 省燃費運転教育の実施(省燃費運転のパフレット/資料による座学指導)  
 建設副産物の発生抑制(搬入資材の削減)(余剰資材削減、簡易梱包、工場加工、実寸発注)  
 建設副産物の削減(で3Rの徹底、施工計画時に廃棄物の削減検討)  
 消灯等による使用電力量の削減(昼休み/不要照明の消灯、高効率照明器具の採用)  
 工事用ヒーター等の適正使用による灯油削減(容量制御型ヒーター等の採用)  
 作業員通勤車両の乗り合い  
 執務場所での適正冷暖房(チャレンジ25運動と連動)  
 生物多様性への配慮(啓発ポスター、教育)  
 各種啓発ポスター(手順書)による教育の実施  
 各種会議体による教育指導  
 環境講演会等による意識啓発

#### (2) 当社の環境関連システム、保有技術

環境配慮設計の実施(CASBEE評価実施、ECW工法他)、環境配慮技術の開発  
 建設副産物管理システム(産業廃棄物の一元管理、電子マニフェスト化の推進)  
 グリーン購入の推進(施工、オフィス部門)  
 ゼロエミッションへの取り組み  
 独自の技術(ネッコチップ工法、屋上ビオトープ、ダクトサイレンサー、サイレント手摺、サイレントボイド、環境修復技術、スーパーリサイクロンシステム)

## 5. 推進体制の整備と社員研修の実施方法

### (1) 推進体制（環境マネジメントシステム体制図）



### (2) 社員研修（環境教育・訓練）

環境教育・訓練は、期首にEMS事務局が年度計画を策定し、これに基づき計画的に実施しています。

教育内容は、システム教育、専門教育、啓発教育、新入社員教育、統括・元方教育に分けられ、この他に環境月間の特別講演会や月次会議体（経営会議、所長会議、環境保全部会等）でも適宜行われます。

#### <お問い合わせ先>

株式会社 熊谷組 北陸支店  
 お客さま相談室 / 品質環境マネジメントグループ 松村 浄美  
 TEL 076-253-3164 FAX 076-253-3311 (支店EMS事務局)

#### <ホームページ>

株式会社 熊谷組  
 URL <http://www.kumagaigumi.co.jp/>  
 e-mail [info@ku.kumagaigumi.co.jp](mailto:info@ku.kumagaigumi.co.jp)

以上